

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	望月城跡の環境整備とツリークライミング技術の活用
事業主体 (連絡先)	非営利活動法人望月まちづくり研究会 0267-53-2110
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	964,613 円 (うち支援金 : 723,000 円)

事業内容

- ツリークライミング体験会
4回計画し、雨天中止の予備日を含め4回実施した
- 城跡の樹木整備
ツリークライミング対象木3本増やした。
隣接の危険木・不要木の伐採で安全確保。
- 備品の補充
ア ツリークライミング体験会用
サドルの補充で最大12名に対応可能となった。
イ 樹木整備用備品の補充
1名分の特殊伐採用具を購入
- その他の活動
ツリーワーカー国際資格認定試験会場誘致、少年自然の家での体験会、特殊伐採見学会、通路整備



【特殊伐採見学会】

【目標・ねらい】

- ① 城跡の環境整備と安全管理
- ② 地域の魅力創造と発信
- ③ 特殊伐採技術の活用による事業でNPO活動の活性化

事業効果

- *体験会参加者数 27年度31人、28年度31人
- *環境整備と樹木整備により利用範囲が拡がりツリーボート(樹上ハンモック)をたのしめるようになった。更に城跡散策の安全確保ができた。
- *ツリーワーカー国際資格認定試験会場となり、全国の関係者、樹木作業従事者にアピールできた。
- *ツリークライミング技術を利用した特殊伐採で地域貢献できる事をアピールできた。
- *備品の充実で様々な体型に対応した安全で快適な体験会が実施できるようになった。

※自己評価【B】

【理由】体験会、ツリーワーカー国際資格認定試験会場が予定どおり実施できた。特殊伐採技術の見学会は他地区の参加者が多く反響があった。反省点は、体験会参加者確保の為に、募集方法、夏休み期間中の実施や学校行事把握等が課題である。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

活動を持続させるため、体験会と城跡の環境整備を並行して行う。今後は、親子体験会、ネイチャーゲーム等との組み合わせ、都会からの参加者を促す企画夏休み期間中の企画等に取り組んでいく。また、特殊伐採事業を推進し、NPO活動の活性化を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある